児童に見られるつまずき

　要旨や、事実と感想、意見などとの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読み、本や文章を読んで考えたことについて、自分の考えを広げたり深めたりすることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　意味段落のつながりについて考えたり、考えを交流したりさせることで、文章構成と説明の仕方に関する筆者の意図に対する考えを深めさせるようにする

指導事例集ｐ．８１

１　学年・単元名　　第５学年　説明のしかたの工夫を見つけ話し合おう

『天気を予想する』（読むこと）

２　単元の目標

筆者の主張，文章構成における工夫，資料の利用における工夫について考えを発表し合い，学習したことと結びつけながら自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

３　本時の目標

三つの意味段落のつながりに着目し，文章構成と説明のしかたの工夫を読み取ることができる。

ワークシート

資料：板書

４　本時の展開　　**太字：つまずきに対する手立て**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動・主な発問 | 指導上の留意点 | 評価と評価方法 |
| 導　入 | ○全文を音読する（授業前）○学習のめあてをつかむ。意味段落のつながりについて考え，筆者の説明のしかたの工夫をとらえよう。○意味段落と筆者の主張との関係について考える。（ペア→全体）本論の中で，あなたが一番大事だと思う意味段落はどれでしょう。 | ○筆者の工夫を意識しながら音読させる。○ワークシートを配り，本時の活動に見通しをもたせる。○それぞれの意味段落の良さについて考えさせることで，筆者がすべての意味段落に主張を散りばめていることに気付かせる。 |  |
| 展　　　開 | ○意味段落と筆者の主張との関係について考える。筆者が大切にしている意味段落はどれでしょう。（グループ→個人→全体）　①・主張にも「天気予報を一つの有効な情報として活用し…」と書いている。・最初に書いていることが伝えたいこと。②・唯一反対の例を書いている（反例）・自分で判断するためには，天気予報だけではいけないということを伝えたかったから。　③・主張に「自分で空を見，風を感じ…」と書いている。・だんだん言いたいことに近づけている。 | ○児童が大事だと思う意味段落と筆者が大切にしている意味段落とを比べ，筆者の主張と結びつけながら考えさせることで，全ての意味段落の必要性に気付かせる。○問い②の必要性に着目し，反対の例を挙げた理由を考えさせることで，反対の例を用いた筆者の思いをとらえさせる。ワークシート⑤＜書く活動＞○自分の考えを整理して発言につなげるために，班で相談したことをまとめ，理由と根拠を明確にしてワークシートに書かせる。 | ○意味段落と主張の関係について自分の考えをもち，理由と根拠を明確にして発言することができる。　（発言） |
|  | ○意味段落のつながりについて考える。（ペア→全体）なんのためにこの順番で書いたでしょう。・「では」「それでは」と答えに対する疑問をつなげていくことで，主張を深めるため。・前の段落に書かれたことに対する疑問を問いとし，読者を納得させるため。○筆者の工夫について，ワークシートに自分の考えを書く。筆者は，「何の」ために「どのような」工夫をしたのかまとめよう。・筆者は，伝えたいことをより伝えるために，問いの順番を工夫している。・筆者は、読者を納得させるために，「問い」を読者が考えそうな「問い」にしている。・筆者は，説得力を高めるため，読者が考えそうな「問い」を本文の中で解決している。  | **○意味段落の順序に焦点化し、その順番にした理由を考えさせることで，筆者が読者の思考の流れに沿った「問い」を設定し解決していることを読み取らせる。**○接続語「では」「それでは」に着目させることで，問いが前述の文章からうまれていることを読み取らせる。○重要な語句（主張・説得力・読者が考えそうな問いなど）を赤で板書して明確にし，まとめに利用させる。ワークシート⑤Cへの手立て　まとめの文を（　）抜きしたカードを用意し，重要な語句を書き込ませる。＜書く活動＞○筆者が用いた説明のしかたの工夫を明確にさせるために，重要な語句を用いて書かせる。 | ○重要な語句を用いて説明のしかたの工夫について書きまとめることができる。（ワークシート） |
| まとめ | ○本時のまとめをする。筆者は，主張に説得力をもたせるために，順番に問いを解決しながら主張へと繋げる工夫をしている。 |  | ○本時のまとめをする。 |

５　準備物

　　ワークシート（本時用），既習学習の掲示物